

埼玉県勤労者山岳連盟 第23期登山学校 ⑤岩登り（初級）

2班 奥村雅 記

日時 2018年10月7日（日）
場所 日和田山ゲレンデ
メンバー 班長：柏誠 副班長：山田 川原 記録：奥村
担当運営委員：若林信彦様
行程 高麗駅集合 10:00
高麗駅 10:15→9:45 日和田山ゲレンデ
9:50～10:20 先生からのレクチャー
10:30～12:00 子供岩ゲレンデ登攀
12:00～12:50 昼食
13:00～15:00 女岩周囲に登攀、トラバース、下降
15:00～15:20 ロープ撤収、総括
15:30→15:50 日和田山ゲレンデから高麗駅へ移動

記録

1) ゲレンデ登攀訓練

ダブルフィギュアエイトノットでロープをハーネスに固定。ロープをビレイして貰って登攀する。昨日習った足の立込が旨くいかない。岩に直角に爪先で立たなければいけないが、靴が岩に平行になっているようで先生から叱られる。必死に登っており自分では足位置がどうなっているのか分からず修正もままならない。それでも何とかトップに到着、写真を撮って貰って下りにかかる。ロープは持たず岩に垂直になって下りよう指示を受けるが体が岩から大きく離れることに恐怖感を覚え、へっぴり腰になったり膝が曲がったりで尺取り虫が下りているみたい。着地すると急に重力を感じるのかへたり込んでしまう。何とか2コースを延3回登降する。

2) クレイムハイスノット、ムンターヒッチ実技

岩登りではないので緊張感が多少ほぐれた状態で開始。ロープスリングの結び目の位置に注意が及ばず指摘されるが一応難なく？登攀できる。トラバースはロープに瘤を作って頂いたのでカラビナの付け替えなく下降地点迄到着。下降を待つ間、危険回避の為、木に巻付けたスリングにカラビナで体を確保。ご主人を待つ犬のよう。順番が来るとムンターヒッチで下降開始。ロープの支点を意識して下りないと体が振られてしまう。岩場であれば少し振られただけで岩に叩きつけられるので細心の注意が必要。

事前準備、実技指導、安全確保、撤収と運営委員の方々には大変お世話になりました。全員怪我なく実技を終えることができました。有り難うございました。

岩登り（初級）実技講座記録 2018年10月7日（日）

1班（田中、松井、滝島、成田、三ツ堀） 1班担当運営委員（山口） 記録係（松井）

9：00 西武秩父線高麗駅前集合受付

9：08 準備体操

9：13 ハーネス、ヘルメットの貸付（班長が代表で受け取る）

9：15 駅前出発

9：18 線路沿いのローソンに寄る（昼食等必要な人は買い物をする）

9：21 ローソン出発

9：50 子供岩前着（標高約170m）ハーネス等装着準備

10：07 岩登りのテクニックについての説明（三点支持、立ち込み等、模範実技を見せながら）

10：25 1班より岩登り開始（1班は岩の右側のコースを登る）

10：30 3班編成より2班編成に変更（2班が2名ずつ別れてそれぞれ1班と3班に編入）1班に柏さん、奥村さんが加わりました。

11：10 左側コースへ移動 班長の滝島さん上級ルートクリア、柏さん2度目挑戦で上級ルートクリア。他の人は初級ルートを登りました。

11：45 右側へ移動 今度は2度目なので、皆さん少し慣れて、1度目より短時間で登れました。

11：53 午前の実技終了。我々の班は先に、少し登った所にある男岩、女岩の真下の広場へ移動。 11：55 昼食 休憩（午後はまた3班編成に戻りました）

12：47 午後の実技についての説明 まず男岩の右側の斜面に用意されたロープを使ってクレイムハイトノットで登る。次に女岩の方へ移動し、こぶを作ってくれたロープに捕まって少し下り、女岩の右側の斜面に用意されたロープを使って今度はムンターヒッチで下る、との事。

12：50 午後の実技開始 一人一人に時間を要するので、1班は女岩側でのムンターヒッチが終わり次第、男岩側へ移動し、そこで、登り下りの練習。一往復して、また女岩側へ移動。そこで登り下りを一往復。これで実技終了となりました。

15：00 実技終了 評価カード記入

15：16 記念撮影

15：20 全体総括 ヘルメット回収（ハーネスは次回の講義の際に回収するので所持名を班長さんが報告するようにとの事）

15：24 各班に別れて感想の発表

15：30 現地にて解散。各自帰路へ。（ほとんどが高麗駅から電車ですが、一部自家用車で） ※全体が一回りするのに時間を要する実技なので、回数としては多くなかったですが、十分に時間を取ってくれたので、焦らずにやる事ができました。身に付くまで反復練習が必要だと感じます。運営委員の皆さんが熱心に教えてくださった事に感謝します。

岩登り（初級）実技講習報告

3班 津久井 裕

日時 2018年10月7日（日）晴れ

場所 日和田山（子供岩・女岩・男岩）

参加者 中島（班長）、大塚（副班長）、遠藤、仲村、津久井（記録）

午前中

子供岩にて岩登りの実技（ホールド、三点確保、立ち込み）

班員それぞれヘルメットをかぶり、ハーネスを順番に着け、皆上手に登下降を実施。

さて自分の番、ビレイヤーと安全確認を行い岩に足をかける。三点確保しながら登る。ロープに支えられているので意外に恐怖感はない。自身の登り方は怪しいが何とかクリア。下りは重心のかけ方が悪く少し振られながら降りる。3回ほど挑戦するが完璧には程遠い。しかし、なかなか面白くはまりそうな感じがある。

午後

女岩の斜面を使い、クレイムハイスノットを片手で押し上げながら登る。南面右端斜面をトップロープで懸垂下降を行った。

個人的にはロープワークは難しい。日常的に練習して身につけなければ、瞬時には使えない。講師の方々には、いつもながら細かい指導をいただき大変感謝しております。以上。